

染織家 日下田正先生 による特別授業 (第1回・2回)

7月11日(木)と11月16日(土)の二日間、宇都宮短期大学附属高等学校アートルームにおいて、生活教養科2年「ファッション専門分野生徒(34名)」が、益子在住の染織家 日下田正先生(栃木県無形文化財指定、栃木県文化功労者)による特別授業を受講しました。

7月11日は、今年5月本校菜園に定植した藍の生葉を摘み取り、ジューサーで青汁にした染液を用いて、“シルクのハンカチーフ”を染色しました。11月16日には、本校菜園に播種した棉の木の綿摘みと、紡毛機を使用して、藍や茜・蘇芳・槐などで染めた原毛を紡いで糸にするスピニングを行いました。今回の授業を通じて生徒たちは、化学染料に頼らず、天然素材を用いた手作り(手仕事)による草木染めの技法を科学的に学ぶことができました。また、手作りの温もりを感じる「手仕事(ものづくり)」に触れることができ、とても貴重な体験をすることができました。12月には、益子の日下田紺屋に出向いて、絞り染めハンカチーフの藍染めをさせていただく予定です。

【7/11(木)実施】



ジャパンプルーとは



青汁作り



藍染めのハンカチーフ完成

【9/18(火)実施】



綿摘み



綿の糸紡ぎ



スピニング(原毛の糸紡ぎ)